

## リコール等情報

## 改善対策情報：KLX125-D-TRACKER 125（2016年3月16日届出）

[《印刷用pdfをダウンロード》](#)

改善対策届出番号	490	改善対策開始日	平成28年3月17日
不具合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	サイドスタンドブラケットをメインフレームに取り付けている溶接部の強度が不足しているため、走行時の振動等により溶接部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、駐車中に溶接部が破損し、車両が転倒するおそれがある。		
改善対策の内容	全車両、サイドスタンドブラケットのメインフレームへの溶接部を点検し、損傷のないものは補強プレートを追加する。損傷のあるものは補修後、補強プレートを追加する。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用者：ダイレクトメールで通知する。</li> <li>・ 自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・ 改善実施済車には、その旨を定期点検整備記録簿に記載する。</li> </ul>		

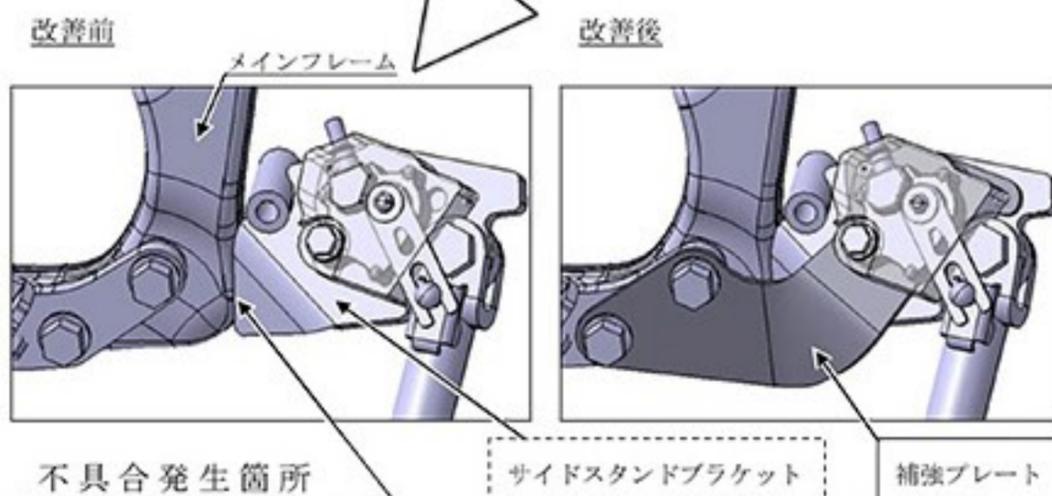
型式	通称名	改善対策対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び製作期間	改善対策対象車の台数
EBJ-LX125C	KLX125	LX125C-A00056 ～ LX125C-A12549 平成21年10月31日～平成28年2月29日	7130
EBJ-LX125D	D-TRACKER 125	LX125D-A00078 ～ LX125D-A09735 平成21年10月29日～平成27年10月28日	4895
(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成21年10月29日～平成28年2月29日	計 12025台

〈ご注意〉改善対策対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

[改善箇所説明図](#)

## リコール等情報

## 改善箇所説明図 KLX125・D-TRACKER 125



**不具合発生箇所**

サイドスタンドブラケットをメインフレームに取り付けている溶接部の強度が不足しているため、走行時の振動等により溶接部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、駐車中に溶接部が破損し、車両が転倒するおそれがある。

**改善対策の内容**

全車両、サイドスタンドブラケットのメインフレームへの溶接部を点検し、損傷のないものは補強プレートを追加する。損傷のあるものは補修後、補強プレートを追加する。

注：  は、点検結果により補修する部品を示す。

注：  は、追加部品を示す。

識別：外観で容易に識別できるため、特別な識別は行わない。

[改善対策情報へ戻る](#)